

製品名: PINCH (3C12) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM00862**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	腹水

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 37 kDa; Observed MW: 37 kDa

抗原情報

遺伝子名	LIMS1
別名	LIMS1; PINCH; PINCH1; LIM and senescent cell antigen-like-containing domain protein 1; Particularly interesting new Cys-His protein 1; PINCH-1; Renal carcinoma antigen NY-REN-48
遺伝子 ID	3987
SwissProt ID	P48059
免疫原	-

背景

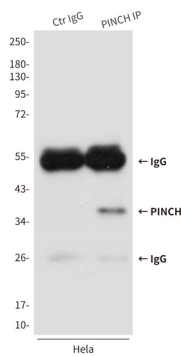
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、5つの LIM ドメイン（二重ジンクフィンガー）を含むアダプタータンパク質です。

このタンパク質は、接着斑に見られるインテグリン結合キナーゼとの LIM ドメインを介した相互作用を通じて、インテグリンシグナル伝達に関与していると考えられます。また、インテグリン結合キナーゼと、成長因子受容体キナーゼシグナル伝達経路に関与する NCK アダプタータンパク質 2 を繋ぐ橋渡しとして機能すると考えられています。伸展細胞の末梢に局在することから、このタンパク質はインテグリンを介した細胞接着または伸展に関与している可能性が示唆されます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見出されています。

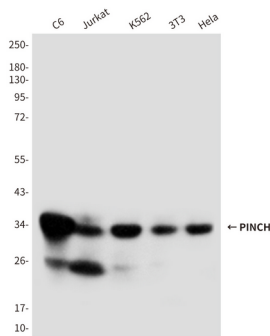
研究分野

心血管系

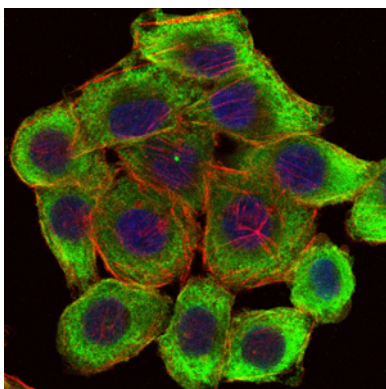
画像データ



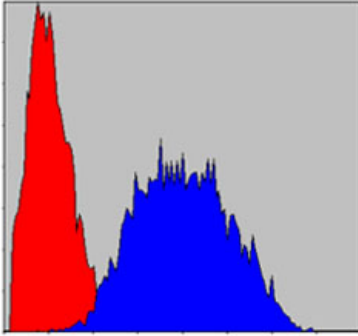
PINCH 抗体を使用した HeLa 溶解物中の PINCH の免疫沈降分析。



PINCH (3C12) 抗体を用いた C6、Jurkat、K562、3T3 および HeLa ライセート中の PINCH (3C12) のウェスタンブロット分析



PINCH (3C12) 抗体 (緑) と DAPI (青) を使用した HepG2 細胞における PINCH (3C12) の免疫蛍光分析。



PINCH 抗体 (青) とネガティブコントロール (赤) で染色した HeLa のフローサイトメ
リー分析。